

事務事業名		15900 民間地域子ども・子育て支援事業費助成事業	予算科目	会計 一般	款 3	項 3	目 1	所管課	子育て支援課	担当班	保育班
③ (病児病後児保育事業)											
施策体系	基本施策	7 子育て支援の充実	根拠法令	旭市病児・病後児保育事業実施要綱他							
	施策の展開	15 結婚・子育て環境の整備	戦略事業	74 病児病後児保育事業							
事業種別		<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない				
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 20 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	【病児病後児対応型】干潟保育所 児童が病気又は病氣回復期で、集団保育の困難な期間、専用施設において一時的にその児童を預かる。 【体調不良児対応型】鶴巻保育園、あさひこひつじ幼稚園、干潟保育所 保育所での保育中に体調不良となった児童が保護者に引き取られるまでの間、専用施設において一時的に緊急的な対応をする。				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
女性の就労の支援や、児童が病気の際、保育する人がいない家庭が増加している。 保育所へ預けている場合でも体調が悪くなった場合、共働き等ですぐには迎えに来られない家庭も増えている。	H25年のニーズ調査では、就学前児童をもつ保護者で児童の看護のため仕事を休んだことのある保護者のうち、利用したいと回答した保護者は32.8%、利用したいと思わないと回答した保護者は66.7%であった。	利用したいと思わないと回答した保護者の意見として「他人に看てもらうのは不安」56.4%、「親が仕事を休んで対応」が53%となっている。			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円	
1.委託料(干潟保育所補助金)	4,472 干潟保育所指定管理料(病児・病後児保育事業分)
2.負担金及び交付金(民間保育所等補助金)	8,944 旭市地域子ども・子育て支援事業費補助金
3.人件費(臨時職員給与、手当)	
4.その他	
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	4,471 子ども・子育て支援交付金
2.都道府県支出金	4,472 千葉県子ども・子育て支援補助金
3.地方債	
4.その他	

費目内訳	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.委託料(干潟保育所補助金)	千円	4,310	4,323	4,371	4,472	4,472
2.負担金及び交付金(民間保育所等補助金)	千円	8,620	8,646	8,742	8,944	8,944
3.人件費(臨時職員給与、手当)	千円					3,349
4.その他	千円					257
事業費計(A)	千円	12,930	12,969	13,113	13,416	17,022
1.国庫支出金	千円	4,309	4,323	4,371	4,471	5,658
2.都道府県支出金	千円	4,309	4,323	4,371	4,472	5,658
3.地方債	千円					
4.その他	千円					40
5.一般財源	千円	4,312	4,323	4,371	4,473	5,666

前年度増減理由	国の補助金の算定基準額が微増となり、伴って交付金の金額が増加したため
---------	------------------------------------

従事職員数 常時 3 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

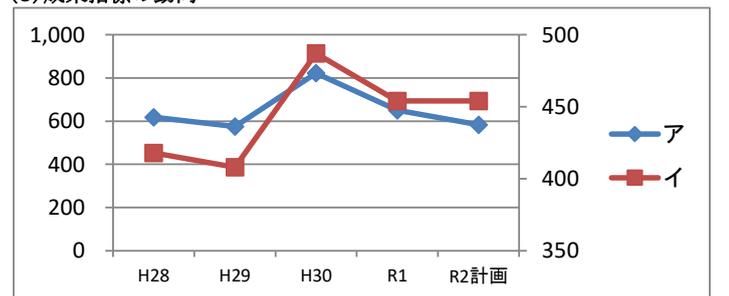
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)	ア 実施私立教育・保育施設数	箇所	2	2	2	2	2
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 実施公立保育所数(公設民営)	箇所	1	1	1	1	2
	対象意図 【体調不良児対応型】入園児童の保護者 児童が急に体調不良となった場合、すぐに迎えに来られなくても保育所で看護することで保護者が安心して就労できる。 対象意図 【病児病後児対応型】市内小学校3年生までの児童の保護者 病気の児童をもつ保護者が就労等で保育できない場合、安心して児童を預けることができる。	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
		ア 年間延利用者数(私立)	人	619	575	822	650	583
		イ 年間延利用者数(公設民営)	人	418	408	487	454	454

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果					
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通				①		
	小さい				②	(2)	
				③			
				④⑤			
				⑥			
				⑦⑧			
				⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難											
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	向上	横ばい	低下	比較	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
評価内容	【コメント】(低下の場合、その理由)		保育中に体調を崩した児童が少なかった				成果動向	28年度	29年度	30年度	1年度	2計画
							ア	125	△44	247	△172	△67
③ 今年度取組事項	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
(2年度に取り組む主な事項について記載)	R2.5	旭市立海上保育所に病児保育事業を開始する。		引き続き事業を実施していく								